

## 平成29年度第1回SGH連絡協議会・ 連絡会指定校報告（分科会）

大学・行政・企業と連携した「課題解決型」学習と  
教科や進路指導と連携した「課題探求型」学習の取  
り組み

平成27年度指定 札幌日本大学高等学校

### 札幌日本大学高等学校

#### （1）題名

大学・行政・企業と連携した「課題解決型」学習と教科や進路指導と連携した「課題探求型」学習の取り組み

#### （2）内容

本校の課題研究は「北海道の産業課題を世界視点で捉え、解決に導くグローバル人材の育成」である。課題研究の進行は、「探求基礎・応用・発展」と分け、企業・行政・大学関係者と連携し、課題研究を進めている。本校は、アクティブラーニングの認識を共有させるために、課題研究の授業を「演習型授業」と定め、2つのタイプ（「課題解決型」と「課題探求型」）学習に分類して進めている。

企業・行政・大学関係者などの専門家による実社会の現状を伝えることや社会課題の問題を提示しながら研究を進める「課題解決型」学習は、専門家との接触が生徒のモチベーション向上に寄与しており、探求や学習の広がり主体性が加わるようになった。もう一つの「課題探求型」学習は、生徒が興味を持った問題を自由に調べる学習からスタートさせ、生徒自身による回答を導きくものとしていることから、生徒に興味づけをどのように行なうかが重要な課題である。LHR、キャリア教育を通じて、21の社会課題（本校で定めた）に取組ませ、また、教科指導を通じて、考える力そのものを養わせる活動を行なっている。本校の取り組みを紹介し、意見交換を行ないたい。

## 札幌日本大学高等学校概要

## 高入生コース

## 中高一貫生コース

- (1) SSH・SGHのみ共通科目  
 (2) 他教科指導はコース単位  
 (3) 高入生コースは入学後、中高一貫生コースは高校進級前に  
 SSH・SGHを選択

## 平成29年度SSH・SGH受講生

	SSH生			SGH生		
	中高一貫	高入生	計	中高一貫	高入生	計
1年生	18	23	41	58	16	74
2年生	15	27	42	63	16	79
3年生	0	27	27	67	0	67
計	33	77	110	188	32	220

全校生徒 1,194 (SSH・SGH対象生割合 27.6%)

## SGH課題研究テーマ

北海道の産業課題を世界視点で捉え解決に導くグローバル人材育成

## 研究開発の人材育成像・仮説

(1) 北海道の社会活動（産業・環境・経済など）の課題解決を通じ、世界の問題を自らの課題として捉える視点を備えた人材	(2) 成果物は、「課題探究型学習」の教育課程の研究を通じて、グローバル・リーダーの意識をもった生徒が増えること	(3) カリキュラム・教材・授業モデルの策定
------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	------------------------

## 仮説1

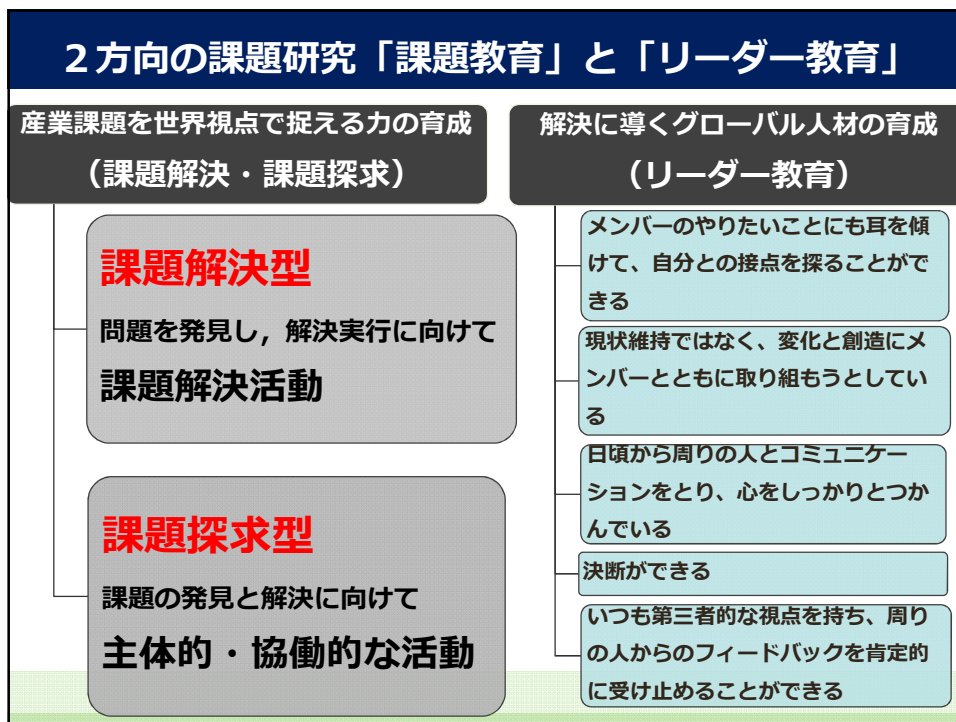
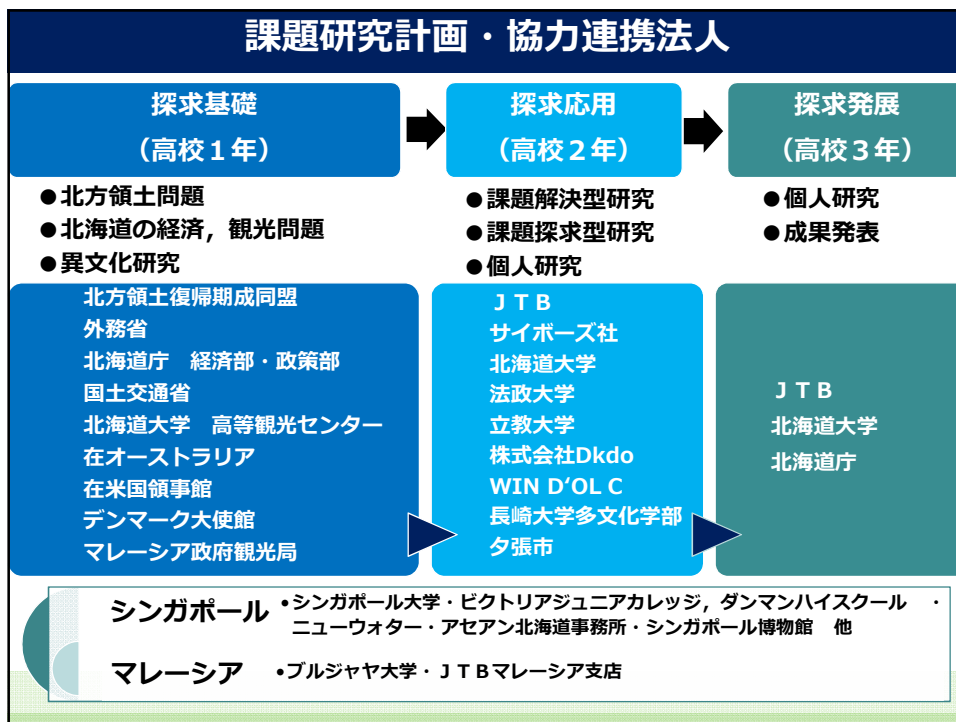
- 自国や多国の違いを感じる感受性、異文化・価値観への理解力、多様なやり方にあわせる柔軟性の育成を通じて、「異なる歴史的・文化的背景や価値観の理解と共生ができる」生徒が増える。

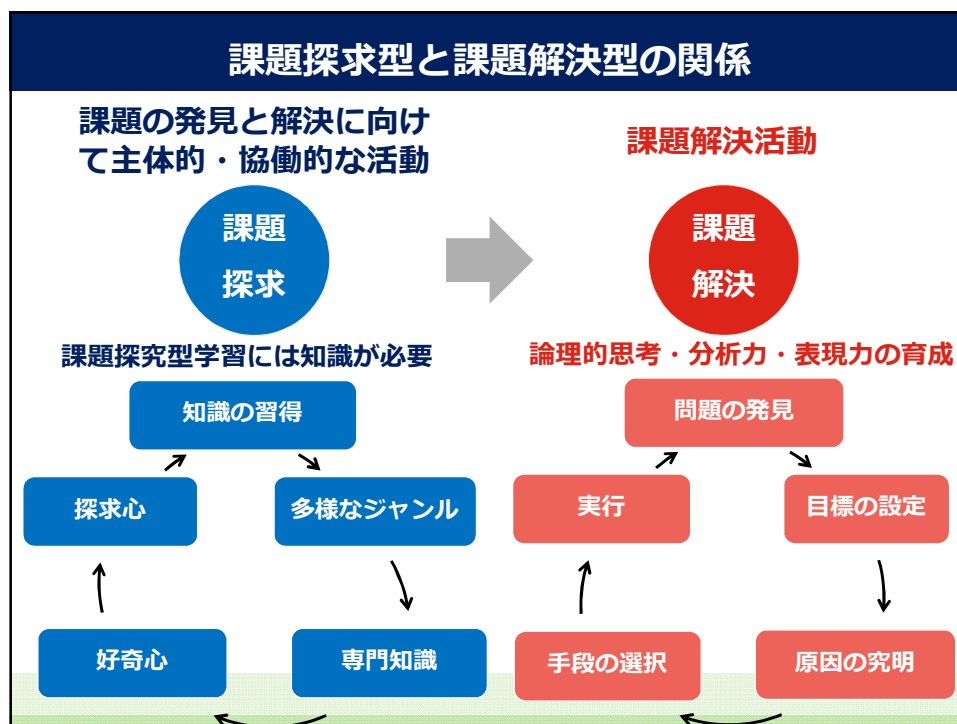
## 仮説2

- 物事を組み立てて前に進ませる力の育成により、「異質な環境での対応力、ゼロベースでの構築力、問題解決型思考力」をもつ生徒が増える。

## 仮説3

- 積極的・論理的な説明力、コミュニケーションの粘り強さを通じて、人を動かす力をもった生徒が増える。





### プロフェッショナルの視点



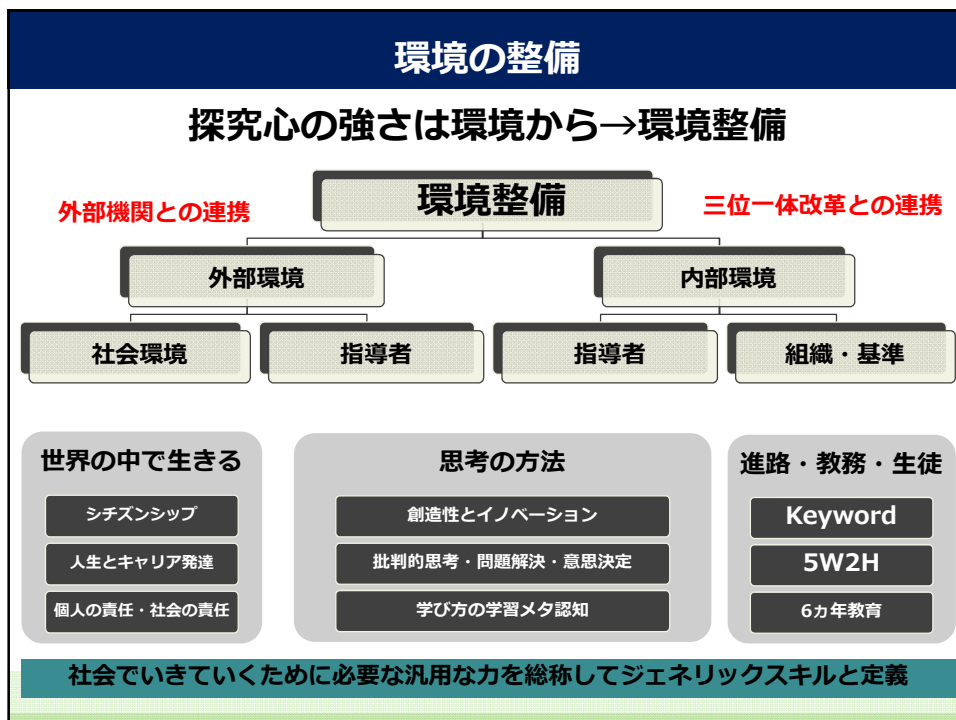
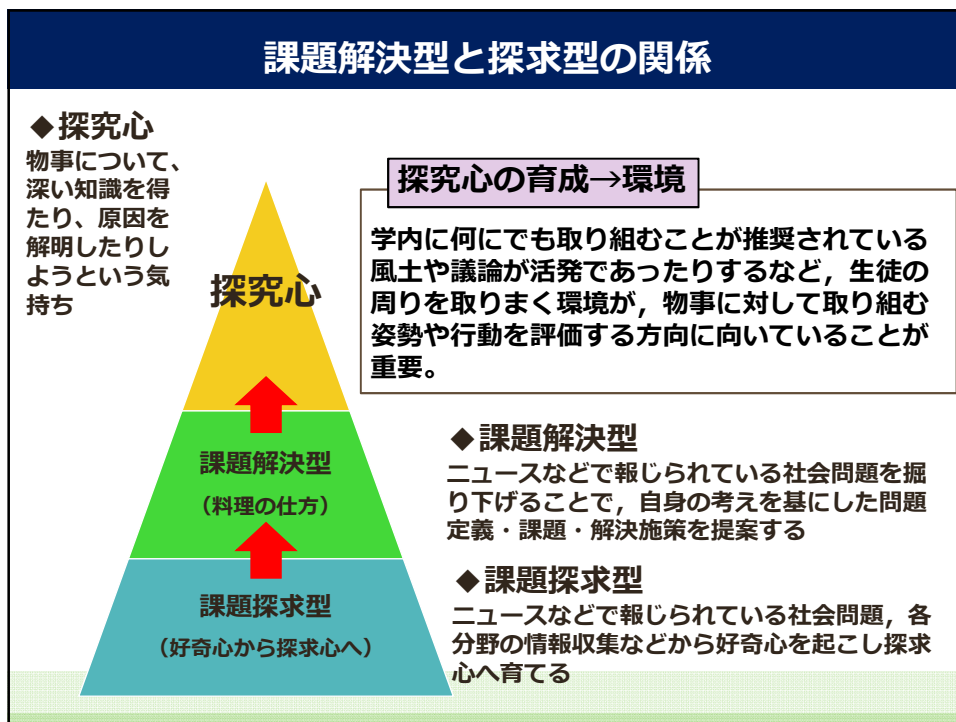
外務省欧州局より講師来校  
外交交渉の難しさを学ぶ



北海道庁 政策課より講師来校  
国と連携した政策を学ぶ



課題探求で活用している教材





## 学内の取り組み「組織としての環境整備」

**◆Keyword**  
日本と外国・数値分析・Yes No

**◆5W2H**  
Who (誰が)・What (何を)・When (いつ) Where (どこで)・Why (なぜ・どんな目的で)・How (どうやって・How much (いくらで))

## 実社会を知ることからスタート

**企業理念：おいしさは国境を越え人をつなぎ、しあわせを広げます。**

キッコーマン 企業情報 (売上・営業利益)

売上高：¥408,372

△2,458 (△1%)

日本 176,552 (43%)  
海外 234,273 (57%)

営業利益：¥32,598

△548 (2%)

北米 176,945 (76%)  
アジア・オセアニア 29,162 (12%)  
ヨーロッパ 23,644 (10%)  
海外セグメント中の「その他」と「セグメント間取引」の合計 1,555 (7%)

■ 海外セグメント中の「その他」と「セグメント間取引」の合計  
■ アジア・オセアニア ■ ヨーロッパ ■ 北米

## 実社会を知ることからスタート

### キッコーマン海外支店

中国江蘇省  
中国河北省  
米国ウィスコンシン  
米国カリフォルニア  
オランダ  
台湾  
シンガポール

- ◆原料 大豆は米国から
- ◆労働力 マレーシアから
- ◆製品はアジア・オセアニアなど

## 実社会を知ることからスタート

### シンガポール工業地帯

シンガポール工業地帯

- ・セイコー電子工業：水晶振動子の組立
- ・キッコーマン：醤油の製造
- ・日清食品：即席麺の製造・販売
- ・日清食品：食品の研究開発
- ・大同PDM：金型、金型部品の製造・販売
- ・ダイセル化学工業：化学品の販売
- ・フジプラスチック工業：精密プラスチック部品の生産
- ・三菱電機：TV、カーオーディオ等の製造・販売
- ・ニコンのり：海苔加工販売及び冷蔵庫業
- ・ニッコー：電子玩具
- ・岡本工作機械製作所：平面研削盤の製造・販売
- ・セイコー電子工業：時計の製造・輸出
- ・土屋電線：電話及びFAX用の電線製造

# 課題探求型教育の実践

国語科主任 濱田 光

## 課題探求型学習（今解き教室を使用した事例）

イメージ  
（報道写真・  
画像など）



世の中の  
仕組み



キーワード  
（覚えさせたい  
語句と意味）



課題への  
取り組み

大テーマ：だれもが生きやすい社会へ

- 競技場のバリアフリー化を
- 「生活保護」どんな仕組み
- 男女の格差 大きい日本
- 文化や宗教，国籍違っても
- 南アフリカ，人種の壁いまでも
- 友達の半数は障害者 など





## 課題探求型学習（研究論文）

### ◆課題探求型学習の取り組み（21のテーマ）

(1) 世界に広がる食糧危機	(12) みんなで選ぶ国のかたち
(2) 科学技術はどこに向かう	(13) 科学の世界へようこそ
(3) 変わりゆく公共交通	(14) 現代社会に生きる私たち
(4) 環境破壊を食い止める	(15) 文化と歴史を見直す
(5) 戦争のない世界を目指して	(16) 平和な世界を目指して
(6) 医療と健康最前線	(17) 地震・風水害・噴火に備える
(7) どうなる日本経済	(18) 限りある資源とエネルギー
(8) エネルギー新時代	(19) 誰もが暮らしやすい世の中へ
(9) だれもが生きやすい社会へ	(20) 情報社会とのつきあい方
(10) 都市と地方 広がる格差	(21) 医療の現場で起きていること
(11) 再発見！ 日本の歴史	

## 課題探求型学習（研究論文）

### ミッション！

21の大テーマから選択して、各自の卒論を策定しなさい（ポスターと論文5000字）

今解き教室

（興味）

調査

（理解）

思考

（問題・課題・仮説）

表現

（提案）

プレゼンテーション

ポスターセッション



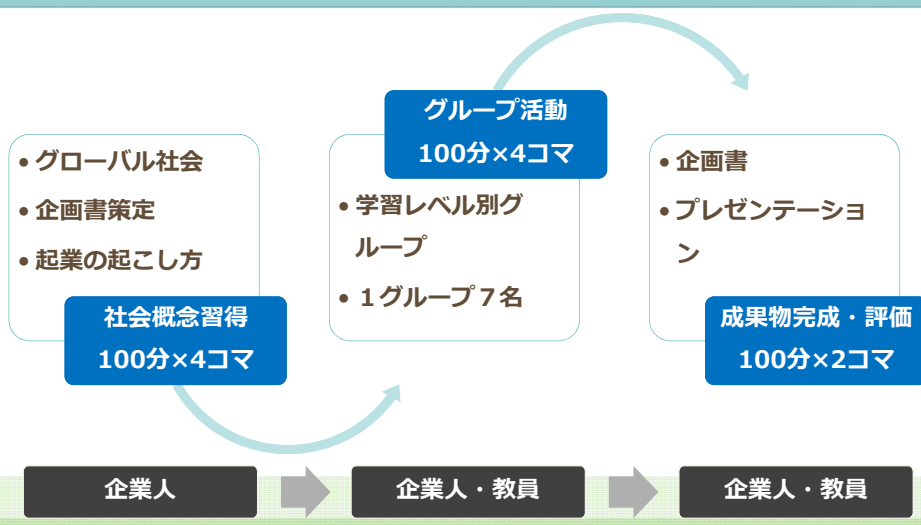
# 課題解決型教育

地歴公民科主任 諸橋 賢

## 課題解決型学習の取り組み

研究事例（TPCプログラム：社会で通じる課題発見・解決・提案手法）

テーマ：「2030年を予測して、北海道ならではの新しい商品・サービス・ビジネスを提案せよ」



## TPCプログラム（課題解決型）

社会に出て確実に必要となる  
三つの要素

- ・ Teamwork（チームワーク）
- ・ Problem solution（問題解決力）
- ・ Communication（コミュニケーション）

メソッド



ゲスト



企画書



グループ  
ワーク



中間チェッ  
ク



発表会

**ミッション！**

2030年を予測して、北海道ならではの新しい商品・サービス・ビジネスを提案せよ



## TPCプログラム（課題解決型）

### 株式運営による第一次産業の活性化計画案

- ・ 「DIVINE」という株式会社を設立し、農業の革新を目指す。北海道ブランドの活性化をはかる提案

### 「先鋭福社区」の建設

- ・ 高齢者の孤独死に着目し、福祉に特化した取り組みを提案。高齢者の貧困や孤独を助ける取り組みを提案。

### 農業社会の企業化

- ・ 北海道の農業の問題点を挙げ、JAHと手を組むという解決策を提案

### セカンド・SAPPORO・プロジェクト

- ・ 北海道外へ人口が減少していく現状を改善する提案。北海道（釧路）に新たな球団を作ることで活性化を図る。

### 将来必ず必要とされる北海道

- ・ 北海道における観光の現状や少子高齢化などを取り上げ、北海道の価値を高めたい。季節による変動を減らし、道内における観光格差を埋めるための方策を提案。

## TPCプログラム（課題解決型）

### 宇宙開発プログラム

- 2030年の世界情勢を想定し、人々の生活が厳しくなっていることを指摘し、地球を脱出する宇宙ビジネスを提案。北海道にその宇宙開発の拠点を作るという宇宙産業を企画

### 北海道にテーマパークを…

- 地域による観光客数の偏りを改善する提案。特に道東の環境客数を2568万人から6000万人に増やすために観光スポットとしてテーマパーク「SGH」を建設する提案。

### 2030年の北海道のビジネス～雪力発電～

- 冬期、北海道の苦労の元となっている雪を電力として利用する提案。

### 2030年の北海道のサービス業について

- 北海道の観光地域の限定を指摘し、結婚式ツアー地域として活性化する「ウェディングブランド」を提案。結婚を機に北海道リピーターを増やすことも狙い。

### 北海道観光鉄道計画

- 北海道観光における問題点（広すぎる土地、タイムロス、移動の難しさ等）を踏まえ、バスではなく、「北海道鉄道」を提案。

## 課題解決型学習の取り組み

### 研究事例（TPCプログラム：社会で通じる課題発見・解決・提案手法）

テーマ：「2030年を予測して、北海道ならではの新しい商品・サービス・ビジネスを提案せよ」

チーム	ミッションテーマ	学カレベル	結果
Jチーム	農業社会の企業化	下位生	
Dチーム	株式運営による第一次産業の活性化計画案	中位生	
Cチーム	将来必ず必要とされる北海道	下位生	
Bチーム	セカンド・SAPPORO・プロジェクト	中位生	
Hチーム	「先鋭福祉区」を財政破綻した夕張市に建設	中位生	優秀賞
Fチーム	宇宙開発プログラム	中位生	
Gチーム	北海道にテーマパークを…	中位生	優秀賞
Aチーム	地域と連携する新しい食堂	下位生	
Eチーム	2030年の北海道のビジネス～雪力発電～	下位生	
Iチーム	2030年の北海道のサービス業について	上位生	優秀賞
Kチーム	北海道観光鉄道計画	上位生	最優秀賞

## 課題解決型学習の取り組み

◆ J T B 事業開発・民間企業・行政（夕張市）の関係者を前にしたプレゼンテーション



## 課題探求型から課題解決型へのリレーション

### 探求基礎 北方領土問題

外交を取り巻く問題理解

- ・ Teamwork (チームワーク)
- ・ Problem solution (問題解決力)
- ・ Communication (コミュニケーション)

歴史認識

日本の見解

元島民の理  
解

外交

問題・課題



課題解決型：元島民についてアプローチ



課題探求型：領土問題としてアプローチ

# 英字新聞を活用した ジェネリックスキルの 指導研究

英語科・SGH 連帯指導

## 英字新聞作成&ジェネリックスキルの育成

### ◆目的・目指す効果

- チームワーク
  - 批判的思考・問題解決・意思決定
  - 個人の責任・社会の責任
  - コミュニケーション（取材）
  - 英字新聞固有の英語（見出しのルール）
    - ・過去の事柄も現在形で
    - ・未来を表すには to+動詞
    - ・Be動詞は省略
    - ・代名詞を省略
- 他6ルール

### ◆意識付け

社会課題への意識付け

- ・社会課題を扱い英語に触れる

海外研修でのインタビュー

- ・研修旅行での課題インタビュー育成

フィールドワーク

- ・SGHフィールドワーク

### ◆5W2H

取材者（誰が）：取材をする人

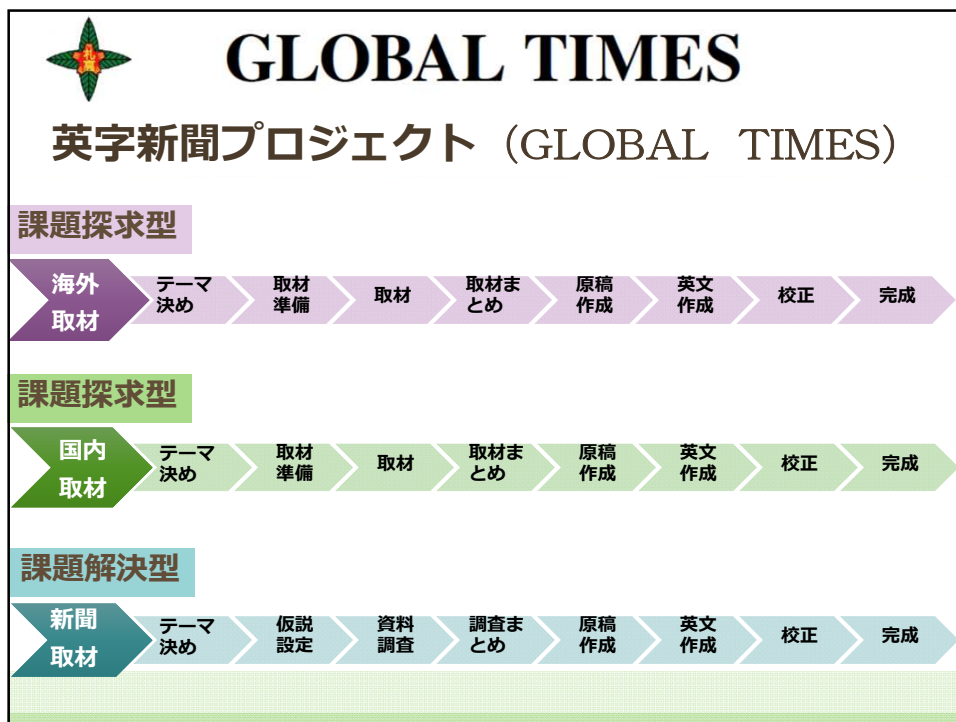
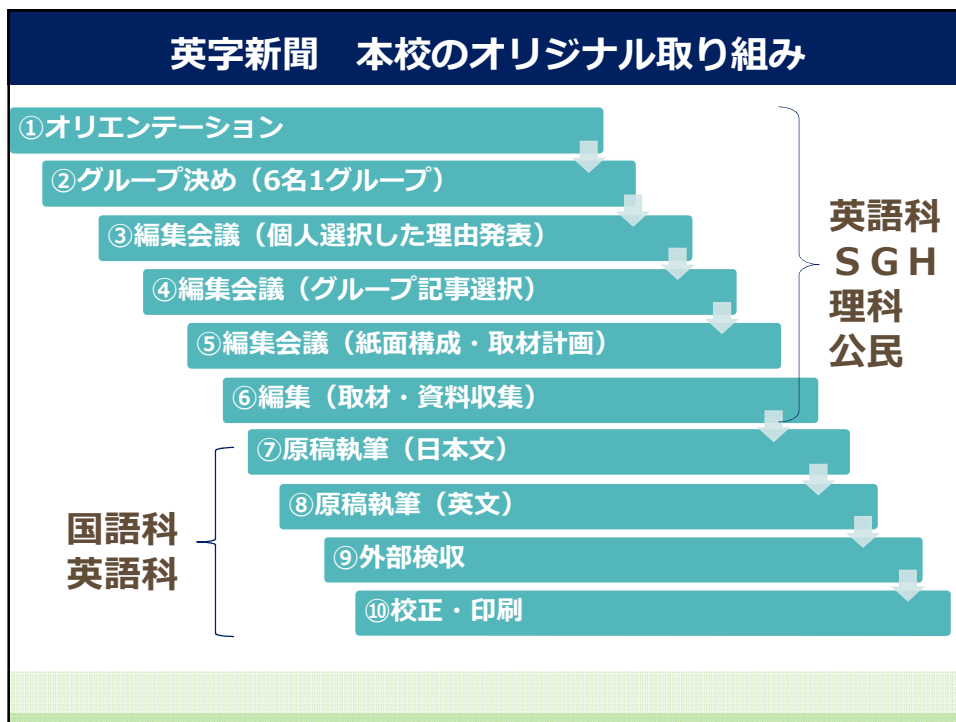
内容（何を）：取得した情報

日付（いつ）：インタビュー日

取材先（誰に・何に）：インタビュー対象

背景（どのような）：インタビュー者立場





Produced by SAPPORO NIHON UNIVERSITY SENIOR HIGH SCHOOL × GEIC × thejapan times



# GLOBAL TIMES

Special Edition JUNE 2017

Sapporo Nihon University Senior High School was designated as a Super Global High School (SGH) by the Japanese government in April 2016. The SGH project aims to develop future global leaders who can solve social problems and be active on the international stage. To achieve our goals, we are going to cooperate with universities, enterprises and international organizations in Japan and overseas to provide a higher-quality education.

We decided to publish our own newspaper, Global Times, following our designation as an SGH. We would like to show what our students are learning and studying to develop as future global leaders through the process of creating this newspaper.

## Peaceful Northern Territories

With our research on the Northern Territories issue, we were able to participate in the Northern Territories Festival last summer in what was a valuable experience of visa-free exchanges last summer.

Although this exchange was promoted for the purpose of exchanges between the citizens of both parties, we were able to catch a glimpse of some of the challenges in diplomacy, such as securing interpreters with abundant exchange experience and dealing with the strict attitude of




However, as we interacted with each other, we felt the need again. Even though various solutions have been implemented with flexibility.

## Evidence

	平成27年度 (指定)	平成28年度 (2年)	平成29年度 (3年)
高校生模擬国連	2名	2名	(予定)
イオン1%クラブ (中国)		20名	20名
トビタテJAPAN		4名	10名
国連平和大使 (ジュネーブ)		—	1名
北方領土ビザなし交流		1名	1名
ケンブリッジ大学 イースタープログラム	4名	4名	4名
オーストラリア研修旅行	67名	78名	76名
オーストラリア短期研修 (隔年)	13名	—	15名予定
SGH海外フィールドワーク (マレーシア・シンガポール)	36名	13名	20名予定
グローバルリンクシンガポール		—	4名